

**「新名神高速道路インターチェンジ周辺の土地利用計画」
に関する市民アンケート調査報告書**

令和5年（2023年）1月 公表

川 西 市

目次

1. 調査の概要.....	1
2. 調査結果.....	2
I. 「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画」について.....	2
問1. 土地利用計画への関心.....	2
問2. 規制の見直し.....	3
問3. 立地したらよい施設.....	4
問4. 緑地保全・景観形成のルール.....	6
問5. ゾーニングの見直し.....	7
II. 自由意見（問6）.....	8
III. あなたご自身のことについて、お聞きします。.....	15
問7. 属性.....	15

巻末：アンケート調査票・別紙「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画（H29.12改訂）の概要」

1. 調査の概要

名 称：「新名神高速道路インターチェンジ周辺の土地利用計画」に関するアンケート

期 間：2022年8月20日（土）～9月5日（月）

ただし、2022年10月5日（水）到着分までを有効回答とした。

対 象：①対象地域周辺※にお住いの16歳以上の市民の中から無作為に選び出した600人

※東エリア（大和、見野、長尾町）、

中央エリア（東畦野、東畦野山手、西畦野、向陽台、水明台、清流台）

西エリア（清和台、石道）

②広報誌・ホームページにWEBアドレスを掲載し、上記以外からも広く回答を募った。

調査方法：配布は郵送、回収は郵送またはWEB

回 収 数：261件（郵送 199件／WEB 62件 有効回答 261件）

有効回収率 44%

備 考：①自由記述の意見は原文の主旨を変えない範囲で要約を行った。

②集計結果として整理しているグラフに示された割合（%）は、端数処理の関係で合計値が100（%）にならない場合がある。

設 問：

問1. 「新名神高速道路インターチェンジ周辺の土地利用計画」について関心がありますか。

問2. 本計画では、対象区域を5つのゾーンに区分し、ゾーン毎の特性を踏まえた土地利用を誘導するためのルールとして、建てられる建物の用途や規模等を規制しています。現在、具体的な土地利用が進んでいないことから、用途や規模等の規制を見直すことについて、どのように思いますか。

問3. 今後、この地域に立地したらよいと思う施設はどのような施設ですか。

問4. この地域で緑地保全・景観形成を図りつつ、地域の活性化に資する土地利用を実現していくために、建物の高さやデザイン、植栽等に関するルールを定める方法があります。どのようなルールが必要だと思えますか。

問5. 本計画では、土地利用を計画的に進めていくため5つのゾーンに区分しています。土地利用計画における5つのゾーニングについて、どのように思いますか。

問6. 新名神高速道路インターチェンジ周辺における土地利用に関して、ご意見やご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

（別紙「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画（H29.12改訂）の概要」）

2. 調査結果

1. 「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画」について

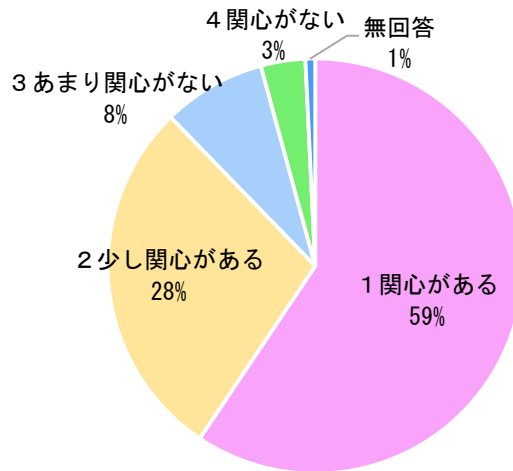
問 1. 土地利用計画への関心

「新名神高速道路インターチェンジ周辺の土地利用計画」について関心がありますか。該当する番号を1つだけ選んでください。

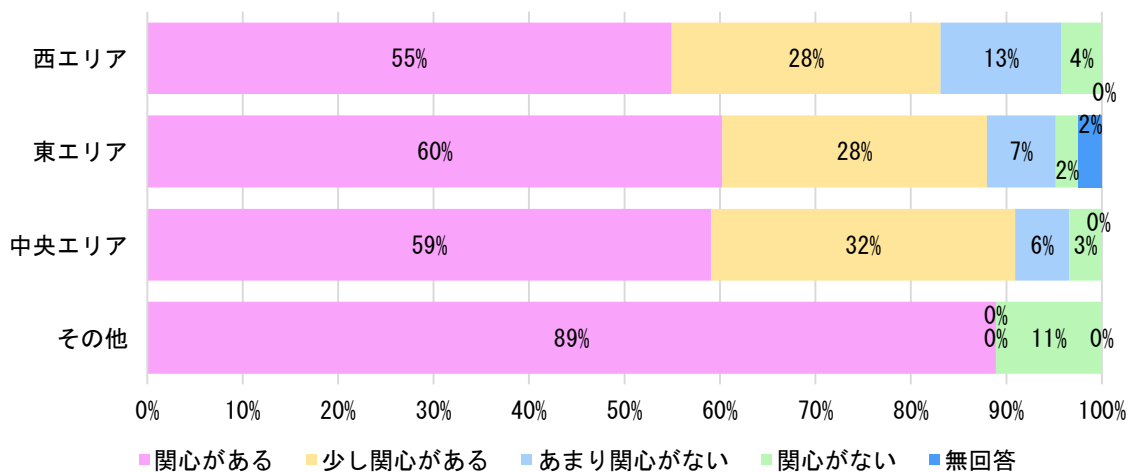
「関心がある」が59%、「少し関心がある」が28%、関心ありは87%とかなり高い。

居住地別でみると、西エリアで関心ありが83%、東エリアで88%、中央エリアで91%、いずれの地区でも関心が高い。

土地利用計画への関心



居住地別 土地利用への関心



問2. 規制の見直し

本計画では、対象区域を5つのゾーンに区分し、ゾーン毎の特性を踏まえた土地利用を誘導するためのルールとして、建てられる建物の用途や規模等を規制しています。(別紙の土地利用計画図を参照ください)。現在、具体的な土地利用が進んでいないことから、用途や規模等の規制を見直すことについて、どのように思いますか。該当する番号を1つだけ選んでください。

「現在の規制を見直す必要がある」が30%、「現在の規制を見直す必要はない」が20%、「わからない」が33%で、ほぼ同程度となっている。

居住地別では、中央エリアで必要ありが45%、必要なしが18%、東エリアで必要ありが36%、必要なしが17%で、どちらも必要ありが必要なしの倍程度みられる。

一方で西エリアでは、必要ありが31%、必要なしが30%で拮抗している。

図 規制の見直し

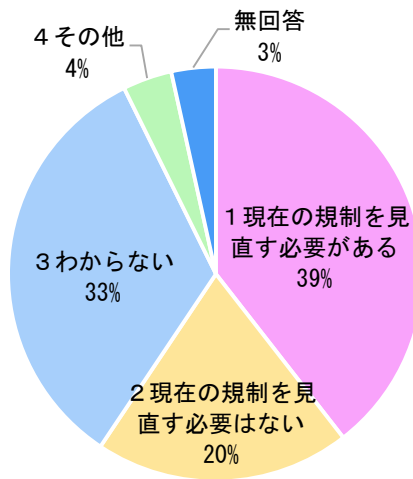
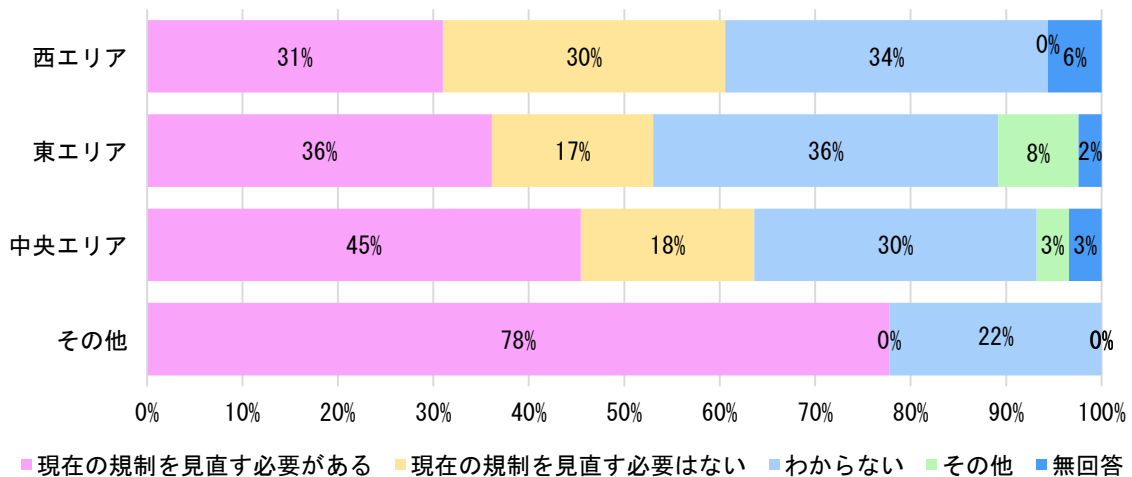


図 居住地別 規制の見直し (居住地別)



【その他の意見】

- ・ 出来れば見直す必要はないと思うが、開発するにあたり見直さないと進まない場合は最小限の見直しをする必要があると思う。
- ・ これ以上自然を切り開く必要はないと思う。自然を守ってほしい。(2件)
- ・ 具体的にどのような施設が立地可能かなど、規制の内容がわかりにくい。(2件)
- ・ 国道173沿いの活用についても検討していく必要がある。

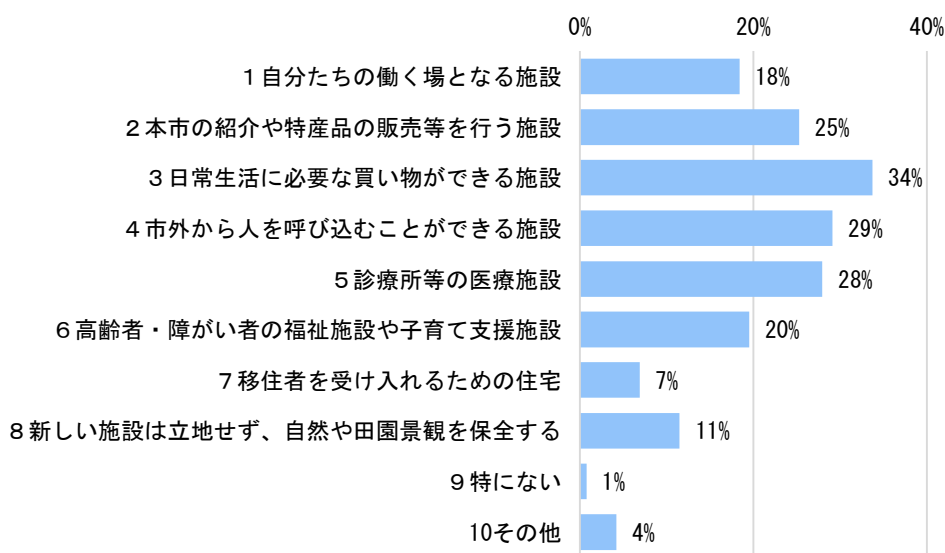
問3. 立地したらよい施設

今後、この地域に立地したらよいと思う施設はどのような施設ですか。該当する番号をすべて選んでください。(複数回答可)

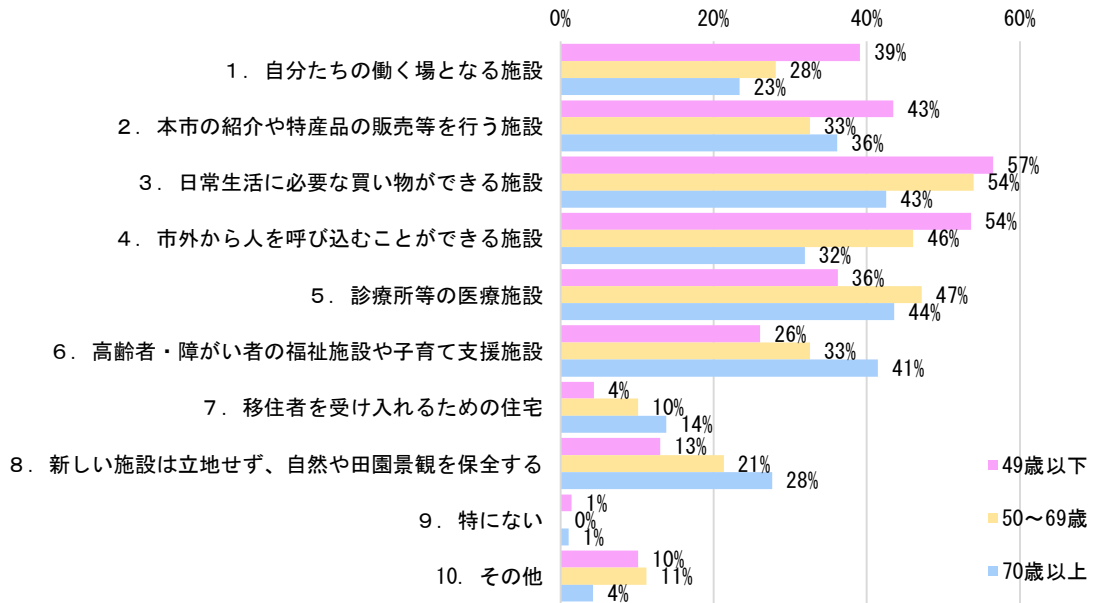
立地したらよい施設は「日常生活に必要な買い物ができる施設」が34%で最も多く、次いで「市外から人を呼び込むことができる施設」が29%、「診療所等の医療施設」が28%となっている。

年齢別では、70歳以上は「日常生活に必要な買い物ができる施設」「市外から人を呼び込むことができる施設」が他の年代に比べて少ない。一方で「高齢者・障がい者の福祉施設や子育て支援施設」が70歳以上が41%であり、他の年代に比べると多くなっている。

立地したらよい施設



年齢別 立地したらよい施設



【その他】

その他には、公園類似施設や道の駅類似施設の意見がみられる。

○公園類似施設

- ・ 公園。
- ・ 遊具がたくさんある大きな公園。
- ・ 川西市の魅力が表れている老若男女が楽しめる公園。
- ・ 子供たちが思う存分遊べる施設・公園など。
- ・ テニスコートなどのスポーツ施設。
- ・ スポーツやキャンプが出来る施設。
- ・ 多目的な野外イベントができる広場。
- ・ 高速道路の騒音対策、自然環境保全対策などのための緩衝地帯として、緑地帯・自然公園・森林公園がほしい。歩行者専用道路・散歩道・ハイキングコースがあり、災害時には一時避難場所になったりヘリポートにも利用できるような場所があればさらにいいと思う。
- ・ 立地もいいので、森林の中にあるようなやすらぎの場所がほしい。

○道の駅類似施設

- ・ 川西にとって第二の玄関口であるので、流通センターではなく道の駅や飲食複合施設にすべき土地だったと思う。
- ・ ボーネルンドのような子供を連れて遊べるアクティビティ施設や万博のアスレチックのような施設に周辺農家の商品を買える道の駅を併設してほしい。
- ・ 道の駅丹波おばあちゃんの里のような、地場の野菜や特産品の販売所、農家レストラン、ガソリンスタンドなどが併設されている施設がほしい。
- ・ レストランを作ってほしい。
- ・ オーガニック商品の販売所、ビーガンレストラン、有機喫茶などがほしい。
- ・ 医療、飲食店、スーパーなどが入った複合商業施設がほしい。

○その他

- ・ 立地の特色を活かし、流通だけではなく交通の拠点として活用できるのではないかと思います。
- ・ 高齢者やハンディキャップを持った人の働く場となる施設がほしい。

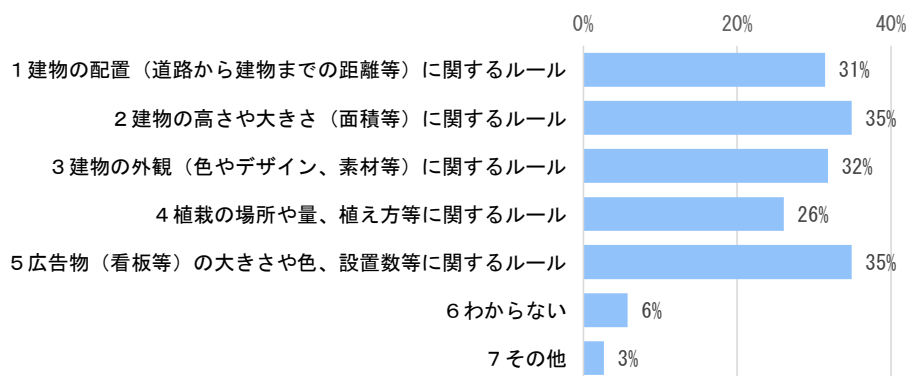
- ・ 川西インターチェンジ近くに消防署を備え、高速道路上での救急にすぐに対応してほしい。
- ・ 大規模太陽光発電パネル設置し、EV車給電スタンドを設置してほしい。
- ・ 先端技術の研究施設がほしい。
- ・ 他の市にはあるが川西市にないもの、川西市に必要なものを作ってほしい。
- ・ 火災のおそれが高い産業廃棄物や爆発物の保管倉庫を取扱う業種の施設はやめてほしい。
- ・ 現在市内にある活かされていない施設や公園のよりよい有効活用を検討した方がいいと思う。

問4. 緑地保全・景観形成のルール

この地域で緑地保全・景観形成を図りつつ、地域の活性化に資する土地利用を実現していくために、建物の高さやデザイン、植栽等に関するルールを定める方法があります。どのようなルールが必要だと思いますか。該当する番号をすべて選んでください。(複数回答可)

緑地保全・景観形成のルールは「建物の高さや大きさ(面積等)に関するルール」「広告物(看板等)の大きさや色、設置数等に関するルール」が35%で、それ以外も同程度みられる。

緑地保全・景観形成のルール



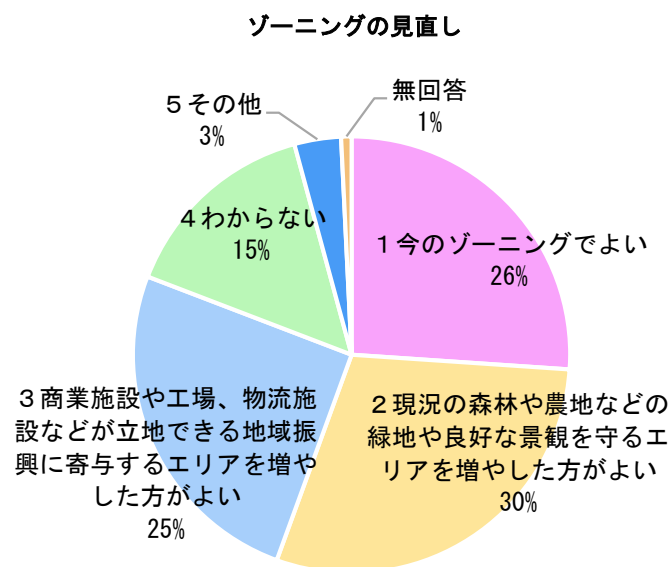
【その他】

- ・ 土地利用の規模(面積)を設定すべきだと思う。
- ・ 高齢者が多い地域のため車椅子が通りやすいバリアフリー通路の設置や成長が遅く落葉しない世話のしやすい植栽してほしい。
- ・ 道路の幅を広くするなど使いやすくしてほしい。
- ・ インターチェンジ付近はホテルが建つことが多く、環境悪化につながりかねないので徹底的に規制してほしい。
- ・ 照明や騒音が発生する場所と住宅街の境にグリーンゾーンなどの対策スペース設置するルール。
- ・ 緑地率の制限を厳しく設けることで建物のデザインは不問になると考える。また、大切なのは道路沿いの緑地率であり、開口比率は最低限としてむやみに道路に開放してはならないと思う。
- ・ 広告物・看板等はなるべく少なくしてほしい。
- ・ カテゴリー別に現状・改善達成目標値を設定し、住民が主体的に決定できるルールが必要だと思う。
- ・ 公園等の設置に関するルール。

問5. ゾーニングの見直し

本計画では、土地利用を計画的に進めていくため5つのゾーンに区分しています。(別紙の土地利用計画図を参照ください)。土地利用計画における5つのゾーニングについて、どのように思いますか。該当する番号を1つだけ選んでください。

「今のゾーニングでよい」「現況の森林や農地などの緑地や良好な景観を守るエリアを増やした方がよい」「商業施設や工場、物流施設などが立地できる地域振興に寄与するエリアを増やした方がよい」は、いずれも25~30%で拮抗している。わからないも15%みられる。



【その他】

- ・ 今のゾーニングを保持しつつ、市税収入が見込める施設があるのならばゾーニングの緩和も必要だと思う。
- ・ 職場+住居のゾーンがほしい。働きながら住めるような場所になれば人口が増えると思う。
- ・ ゾーニングはあまり意味がないと思う。活用申請に対して個々に判断すべき。
- ・ 5つのゾーンの設定根拠がわからない。

II. 自由意見（問6）

1. 土地利用計画

（提案、自慢、期待している事など）

- 川西市に住み50年が過ぎたが、当初と比べると近代的に味のある進化をされていていいと感じている。この計画がうまくいくことを祈っている。
- 本市が誇れる川西文化の基点となるもの、持続的進化が推進できるものなど今後30年の市政発展に資するプロジェクトであってほしい。
- 外国資本を参入させず、川西市や国に税金が入るように土地利用計画を進めた方がいいと思う。愛する我が故郷川西市が住みやすい素敵な街になることを期待している。
- 長期的な地域振興や豊かな環境を重視し計画を進めてほしい。
- この機会に未来に続く土地利用と住民生活の共存を図ってほしいと思う。
- 都会にはない広大な土地を有効的に活用してほしい。
- 仕事の場、人の集まる場、豊かな生活ができる場として、バラバラで無秩序な開発にならないよう期待する。
- 猪名川町は積極的に物流センターを誘致し、川西インターチェンジとアクセス道路の有効活用を実施して町政としても実績をあげてきている。必要以上の規制は緩和し、川西市も川西インターチェンジとアクセス道路周辺の有効活用に努める時期に来ていると感じている。
- プロジェクト対応ゾーンの自然利用共生型・新規機能型について、住宅街から何百メートルという離隔距離の基準を設けてはどうか。
- なるべく自然環境を残す方向で、建築物があまり派手にならないようにルール化してほしい。
- 脱炭素社会を展望した環境づくりを優先する土地利用計画にしてほしい。
- 技術の進歩によってどのようになるかわからないので、（例えば量子コンピューターを使ってやるような業態が出てくるかもしれない）具体的な用途を決めずに進める方がいいと考える。ただ、自然災害が過去に発生したことなどを参考に、埋め立て等をする場合には考慮する必要があると思う。
- 産業振興に寄与する研究開発施設用地や特産物の品質向上や品種改良用地があればいいと思う。
- 上段は大規模ソーラーパネル発電用地を設け、得られた電気は市の収入源として売却。下段は高齢者用に椅子を用意した茸等栽培の棚を設け、高齢者に雇用を提供するのはどうか。

（不安、不満、改善点など）

- 川西ゴルフクラブが閉鎖してからオープンする気配がなく、荒地になるのは問題だと思う。
- 川西ゴルフクラブの土地から大雨の際にとんでもない雨水が流れてくる。防災の観点からも土地利用が進む区域の見直しをお願いしたい。
- 土地利用計画図がわかりにくいので地名などを記載して欲しい。（2件）
- 土地利用の基本方針について、明確に数値を定め、この数値達成の具体策から明確に説明すべきである。
- 川西インターチェンジができて広い道が開通してからコンビニ一つすらできていない。規制が厳しいのかはわからないが、周りの土地も無法地帯になりつつある。
- 地域振興に寄与すべきことは理解できるが、当該ゾーンで具体的な土地利用が進んでいないなら生活環境改善ゾーンや自然環境保全ゾーンを増やし、道路渋滞や交通事故が増えないようにしてほしい。
- 川西インターチェンジ南の自然豊かな丘陵地が自然環境保全ゾーンではなくプロジェクト対応ゾーンとなっており驚いた。これでは基本理念もあつたものではない。平地に建物を建てることと丘陵地に建築することでは大きな違いがある。新名神高速道路ができる前は素晴らしい自然環境だったが、工事が始まりこの自然環境が破壊される状況を見てきた。多田グリーンハイツと清和台、川西インターチェンジに挟まれたこの丘陵地を自然のまま残すことは重要であるので、開発には断固反対する。自然豊かな住宅都市、川西市の魅力を将来の世代に残してほしい。
- 工場、産廃物処理場等は誘致しないようにしてほしい。

- 土地利用計画図に主な建物など名称が書かれていたらもっと見やすくなってたと思う。また、廃棄物処理、リサイクルプラスチック業、自然循環業等の開発業社は、作業の信用性に欠けており将来水質及び環境を損なう恐れがあるため反対する。

2. 道路・交通

(提案、自慢、期待している事など)

- 車を持たない人のためにバス等の公共交通機関を整備してほしい。(2件)
- 川西インターチェンジから東京や九州に向かう高速バスを運営するのはどうか。また、大和団地、畦野駅、川西インターチェンジ、猪名川町の物流センター、猪名川町のイオンを結ぶ路線バスを作るのはどうか。川西インターチェンジ付近に会社を誘致すれば大和バスなど各団地のバス維持にもなると思う。

(不安、不満、改善点など)

- 川西インターチェンジができて確実に交通量は増えたが、単に抜け道としての利用者が増えただけの印象がある。
- 商業施設や工場が増えインターチェンジが混むと高速道路に入るまで時間がかかるのではと思う。
- 交通量の増加による迷惑駐車や安全対策等に留意してほしい。
- 日生方面に行く国道173号・市道898号が、北稜高校生の自転車通学のために2車線から1車線となり、車が渋滞している。高速道路周辺の交通網の整備を考えてほしい。
- 清和台で多少の交通量増加があり、大型ダンプの通行が多くみられる。
- 川西インターチェンジと舎羅林山に建設中の物流施設との間の道路において、安全対策を十二分に検討・実施してほしい。特に舎羅林山から国道173号への出入り口付近のガードレールは、現在国道のどちらか片側にしかないが必須だと思う。また、歩行者専用道路・自転車専用道路を新設もしくは部分的でも歩行者・自転車専用区間を設け、一庫や山下方面と畦野・一の鳥居以南との歩行者や自転車の動線を変えるように誘導できないだろうかと思う。
- 国道173号について、池田方面(右側)のレーンが短く、直線(大和に入る直線)が池田方面の車でふさがっている。右折レーンをもっと長く手前から取れるよう道路を見直してほしい。

3. 商業施設・飲食店

(提案、自慢、期待している事など)

- コストコやショッピングモールのような集客力のある大型商業施設がほしい。(5件)
- 日常生活に必要な買い物ができるコンビニやスーパーマーケットがほしい。(2件)
- 飲食店がほしい。(2件)
- スターバックスを建設してほしい。
- 税収増や雇用確保のためにネスタリゾートのような大型施設を開発し、市民優待があるようにして、若い人に「あそこに行けるから住むなら川西にしよう」と思ってもらえる施設がほしい。若い住民が増えれば、高齢化・空き家問題を解決し、住民税が確保できるようになると思う。また、施設にはこれらの開発団地を通るシャトルバスを配置し、高齢の方も楽しめるようになればいいと思う。
- 緑地は残しつつ、市民の生活が便利になる商業施設や小さな子供たちが遊ぶことができる室内施設等があればいいと思う。職員だけで決めるのではなく、他府県の色々な場所についても知っている市民に意見を投げかけ、参考にするのも良いかと思う。形だけのつまらない中途半端なものだけはやめてほしい。
- 川西インターチェンジ周辺にイベント会場を設置し、高速道路や周辺を通る人を商業施設へ誘うのはどうか。
- 今のところ物流施設にしか利用されていないように感じるが、これから一般利用できる商業施設やキャンプ場等ができたらいいなと思う。
- 子供が安心して遊べる場所、若者向けにオーガニックレストランや喫茶などおしゃれな場所、高齢者には道の駅のようなオーガニック野菜があり健康に気を配ることのできる場所を提供してほしいかと思う。ビーガンレストランも注目を集めているが、外国の方が日本にはそういったレストランがないと言っていたので、川西にできればTVで放送されるなどして注目を集めるかもしれないと思う。
- 道の駅を設置してほしい。(2件)

- ぜひ川西源氏道の駅を作り、街を活性化させてほしい。
- 道の駅や広い土地・自然を活かしたペットが同行できるオープンカフェなどがほしい。
- この辺りはファミリーレストランなどの飲食店が少ない。道の駅のような地元で作られた野菜等を売る施設があれば売り手・買い手共にいいと思う。
- 市外の方が週末などに利用できる貸し出し農地や道の駅併設のBBQ場がほしい。
- 市外から人を呼び込めるような道の駅や商業施設を作ってほしい。高齢化が進んでいるので、緑は残しつつ田畑を減らしていき、この近辺に無いものを作る。
- 川西市北部には大きい商業施設やスーパーがなく、ほぼ猪名川町の方へ行ってしまう。道の駅のような市外から人を呼び込める施設や地元住民が日常生活に必要な買い物ができる施設があれば、地元市民としてはありがたく思う。
- 道の駅のようなものがないかと楽しみにしている。旅行の際は地域の道の駅に寄り特産物や新鮮な野菜や魚・お肉等を購入して楽しんでいるので、近くにもできると嬉しい。
- インターチェンジのすぐ横に道の駅がある東北地方はとても楽しかった。
- 現状では川西インターチェンジ出入口周辺はあまりにさびしい印象がある。市外から来た人が帰る前に寄ることができる道の駅などを設け、特産品の人気施設となるよう計画してほしい。
- 一年前に大阪から引っ越してきたが、川西市はカフェやケーキ屋さんも少ない印象がある。キャンプ・グランピング場の横で特産物等を売る道の駅のような施設があるといいと思う。隣に子供を遊ばせるスペースがあればさらにいいし、フリーマーケットや手作り市もあれば年齢を問わずに楽しめると思う。
- 商業施設ではなく、日常生活に必要な施設や福祉施設がいいと思う。また、農業支援のため農作物の販売施設がほしい。国産、有機野菜が広がればいいなと思う。
- 地域の野菜を置いてもらえたらいいと思う。
- 自然の中で軽食をとれるおしゃれな雰囲気施設があれば楽しいと思う。若者が働けて、老人も気軽にいける場所ができればいい。
- 川西市には高級ホテルがなく他方から人を呼べないので、高級ホテルが必要だと思う。

(不安、不満、改善点など)

- 川西インターチェンジ周辺にまた物流倉庫が出来ると聞いた。コストコなど地域住民が嬉しくなる施設だったらいいなと期待していたので残念。
- スーパーもなく、コープが1店のみで買い物が不便。公園も乏しい。畦野近くは高齢化が進んでいるが、車の運転ができなくなる高齢者がもっと出かけたくなる町にしてほしい。
- 自転車道路整備はとてもよい。商業施設がまるできいていない。現在高校生だが、北部には高校がいくつかあるので学生が立ち寄りたり学習できる場所がほしい。そうでないと大学に進学した後この地に帰らない気がする。
- 地元の美味しい食品や名産販売は大切に応援していきたいと思うが、あまり極端な変化や団体客の受入れは好ましく思わない。
- 利益追求の企業はいらないと思う。

4. 公園・広場・遊び場

(提案、自慢、期待している事)

- 子供たちが安全に遊べる大きな公園・広場を作ってもらいたい。(4件)
- 自然を活かしたネスタリゾートや関西サイクルセンターのようなスポーツ施設がほしい。(4件)
- バスケットボールコートやテニスの壁打ち練習場、ゲートボール場などができればいいと思う。(2件)
- スケボーやeスポーツ等ができる施設など、これとえば川西という施設を作ってほしい。
- サッカースタジアムがほしい。
- 山も川もある自然を活かし、キャンプやグランピング等ができる施設を設置してはどうか。(2件)
- 安全にキャンプ・バーベキューができる場所が近くにできると嬉しい。市民プールが古くなっているので新しいプールやスポーツ施設、ホテルや温泉施設もほしい。川西市の土地が有効に使われ市の財政が潤うことを願っている。
- 西畦野にできた高架下の公園のように高架下を有効活用してほしい。
- スポーツ・レジャー施設や映画館、プール、川で遊べるような公園、キャンプ場などを作ってほしい。

- レジャー施設を作るなら、安価で利用できる広い駐車場を設置してほしい。
- 地域の交流イベントの会場や災害時の避難場所にもなる広場が必要だと思う。
- お金をかけずに、驚くような開発をしてほしい。例えば、斜面を広大なコスモス畑にして観光名所にする、野生のシカを餌付けして動物と触れ合える公園を作るなど、土産物屋やカフェ、温泉施設なども誘致して人が集まる面白そうなスポットを作してほしい。

(不安、不満、改善点など)

- 猪名川町にはプールや運動施設が多く安いのに、川西には市の施設が少なく利用しにくい。
- 少子化が進む中でスポーツレジャー施設の増設は不要なのではと思う。

5. 子育て教育・福祉・医療

(提案、自慢、期待している事など)

- コロナ禍で県外に出てはいけないう職場の方針が厳しくなっているが、子供は遊びに連れて行ってあげたいので近場で楽しめる場所がほしい。
- アカデミックゾーンを設け、専門学校や大学を誘致し専門家を育成してはどうか。
- 老人施設として、全体を塀で囲むなどして認知症の人たちが自由に歩きまわられるような町を作るのはどうか。
- 徒歩で行動出来る範囲に診療所やショッピングセンターがあれば高齢者の事故が減ると思う。

(不安、不満、改善点など)

- 川西市民病院と同等の総合病院を整備してほしい。(3件)
- 川西インターチェンジの開設により若い世代が移住してくることも考えられるが、医療機関が少なすぎるのではないかと思う。特に小児科・産科の増設を切望する。
- 新名神ができてから、若い人たちが転入して嬉しい。しかし、その人たちを支える病院(特に小児科)や日用品・食料品等の販売施設、保育施設等がなく残念。将来を考え、若い方が安心して生活していける町や地域を作してほしい。
- 高校・大学から社会人といった若者にとって魅力がある施設がないのが寂しい。小さい子の子育てについてはよく聞くが、若者世代のためのものはなく一番無視されていると感じる。川西市で生まれ今も住んでいるが、今後住み続けるかはわからない。
- 若い人が移住してくる魅力ある施設や子育て施設、老後施設などがあるまちづくりをしてほしい。川西市の人口を増やさない限り町の発展は望めない。
- 川西インターチェンジ周辺にはスーパー、病院がない。やや大き目の病院ができるようだが、たいした診療所ではないと聞いた。
- 川西インターチェンジ周辺はもともと緑の多いエリアなので、緑地はこれ以上増やさず最小限でいいと思う。それよりも高速道路の近くの市外の人を呼び込む方がいいのではないか。子育て施設はいいと思うが、高齢者医療施設はこんな場所に作らずとも市内に十分あると思う。

6. まちの活性化

(提案、自慢、期待している事など)

- 川西ゴルフクラブ跡地の有効活用を検討してほしい。
- 川西ゴルフクラブ跡地を他市にないようなユニークな活用をしてほしい。
- 川西北部を副都心のようなエリアとして開発してほしい。
- 企業などの進出によって町が活性化することを望んでいる。
- 地元住民の安定した雇用と駅までの送迎を込みとした大手優良企業を誘致する再開発をすれば、高速道路周辺にとっても流通が盛んになり、今以上の活気が期待できると思う。
- 川西北部に移住し20年以上になる。東畦野・清和台間の発展を期待している。一等地が流通センターになったのは残念に思う。有名飲食店や企業・大学の誘致、施設の建設など人が集まるものがほしい。やたらと開発するのではなく、しっかり植樹もしてほしい。川西の将来は北部の活性化にあると思うので、昼間に北部に人が集まる方法を考えてほしい。
- 川西インターチェンジのメリットを活用できるものがほしい。地域の人も含めて働ける場所になればいいと思う。

- ・ 市外から人を集められる施設が川西にはない。お金をかけて高速道路を使って来るので、中途半端な規模の施設では集客できないと思う。さらに道の駅を併設すれば平日も周辺に住む人が集まるので、平日土日祝を問わず賑わうと思う。
- ・ 市民が集う場所となる商業施設があれば、高齢化が進む北部地域にも活気が出てくると思う。また、魅力的な商業施設があれば若い子育て世代が引っ越してくるのではないかな。
- ・ せっかく川西インターチェンジができたのだから、現在の車社会を活かして若い住民を呼び込む住宅対策を考え、人口を増やして川西市を活性化できたらと思う。
- ・ 市内外問わず人が集まるようなものができれば川西市が活性化すると思う。他のところまで行かずともここへ来たら事足りるという施設、災害にも対応できる施設ができればいいと思う。
- ・ 市外、県外からたくさんの人に来てもらえるような施設が必要だと思う。
- ・ インターチェンジができれば車が増え、利用施設ができれば人が増え、そこは活性化する。順調にいかない原因は時期や川西北部の状況でもある。当たる施設を作る必要はなく、今北部に必要なものを設け、近隣住人からさらに都市圏へ人の誘致を広げていけばいい。
- ・ 川西インターチェンジの傍という立地は、市外からの集客で地域が活性できると思う。静かに穏やかに生活したいと思っている方には迷惑かもしれないが、多くの人が訪れて川西の良さを知ってもらうチャンスにしてほしいと思っている。
- ・ 川西市民だけで経済を回していくには限度があるので、市外から人を呼びよせるのは必須だと思う。市民だけでなく色々な人にとって素敵だと感じてもらえるようなまちになれたらいいなと思う。
- ・ 人口・税収を増やすため、昔の炭鉱のように働く場と住居が一体となった場所にするのはどうか。
- ・ 商業施設やレジャー施設などで市外から人を呼び込み、住んでみたいと思ってもらえるような計画を進めていってほしい。市外に出かけずとも十分に遊ぶことができ生活の利便性を感じられるようにして、川西市の収入も増やし市民に還元もしていってほしい。
- ・ 若い世代の流入が期待できる開発をお願いしたい。
- ・ 若い人が移住を考える際、近くに商業施設や保育園・幼稚園・小中学校がないと選択肢から外されると思われるのでこのあたりを充実させる必要があると思う。
- ・ 若者の過ごしやすさが大切だと思う。川西は何もないから不便という声を聞くので、若者がさらに過ごしやすくなることで住みたいという人も増えると思う。

(不安、不満、改善点など)

- ・ インターチェンジ周辺なのに活気がないので何とかしてほしい。
- ・ 川西市をもっと元気にしてほしい。川西市にはこれといった目立った場所がない。
- ・ 川西は企業が少なく、税収の大幅増が見込めない。猪名川町のプロロジスは見事だと感じる。川西の北部は老人の街なので中核となる施設が必要だと思う。川西インターチェンジをもっと活用しないもったいない。

7. まちの美化、景観

(提案、自慢、期待している事など)

- ・ 毎日このあたりをウォーキングしている。地域活性や税収などの必要があるのかもしれないが、このすばらしい景観を守ってほしい。
- ・ 日本一の里山を誇る町なので、緑の多い地域として計画的に景観を守ってほしい。
- ・ 将来を見すえた街路樹の敷道がほしい。
- ・ 緑地帯が増えてほしい。
- ・ 自然環境保全ゾーンと自然利用共生型ゾーンはまめに手入れしてもらえるとありがたい。

(不安、不満、改善点など)

- ・ 都市を通らず、神戸方面、京都、日本海方面へ行ける点は便利になったが、今までの川辺の水鳥や水音、田畑の四季の変化など、風情が大きく変わるのでと心配でもある。
- ・ 東畦野1丁目の交差点から緑台に向かう歩道の雑草が何年も放置されていて景観が悪い。近隣の市にはこのように雑草を放置している市はない。せめて年に1回は伸び放題になっているところだけでも除草してほしい。また、東畦野1丁目から大和・猪名川方面に向かう街路樹のうち、エゴノキの数が立ち枯れのままになっているので一度点検をしてほしい。また、コブシの木、サルスベリの木に比べ、エゴの木は勢いが弱いように思われる。
- ・ 落葉の時期が来ると掃除してもきりがないので、街路樹は必要ないのではと思う。

8. 自然・みどり

(自然保全)

- 自然環境保全ゾーンは必要だと思う。ここで開発をしたいという企業がある場合は、自然環境のことをよく検討していただきたい。
- 自然環境保全ゾーンを拡大し、林間コース遊歩道や散歩・ランニングコースを整備すると健康管理に良く、市民に愛される地域になると思う。
- 自然と共存し、緑の景観を維持してほしい。
- 森林・農地などの緑地は大切である。
- 面積が結構広いので、ありきたりな施設を増やすよりも他にはない自然にやさしい場所にしてみてはどうかと思う。
- 現状ある緑を減らさないようにしてほしい。
- 森林がなくなるのは心苦しいのでやめてほしい。
- 新しい施設は立地せず自然のままにしてほしい。
- 豊かな自然風景が魅力な地域なので、商業施設などは増やしてほしくない。
- すでに新名神高速道路の開通によって自然がとても少なくなってしまったと思っている。新たに増やすことで自然が減ってしまうのであれば、新たな施設の設置には反対する。
- 長年住んでいる人々の田畑や生活場所を多く犠牲にしてできたインターチェンジなのだから、利便性よりもこれ以上生活場所を壊すことなく保全すべきだと思う。
- これ以上山や自然をなくさないでほしい。新名神ができてたくさんの野生動物が車にはねられ亡くなっている。このことをもっと重視すべき。
- 地元の山や緑がどんどん減っていることが悲しい。家から見える景観もかなり変化してしまい、近年は山のイノシシやシカがおりてきていることが多く心が痛む。

(自然共生)

- 自然環境を守りながら、無理のない開発を進めてほしい。(2件)
- 自然の景観を残した川西らしさがある施設にする必要があると思う。そうでなければ川西に作る必要はなく、人も呼べないと考えている。
- 自然を活かした川西市以外の地域から来てもらえる施設があればと思う。
- 豊かな自然を残しながら、高齢者から子供まで利用出来る施設を希望する。
- 川西インターチェンジ周辺は、川西市内でも自然が多く残っている地域である。川西市には大きな産業がないため、自然との共生と産業誘致の2つをポイントとして、北部の新名神・南部の中国自動車道の2大幹線道路を有効活用した方策を重大政策として実施してほしい。
- いかにこれ以上緑を減らさずに新しい施設を作ることができるのかが大切と感じた。川西は昔から緑豊かなまちでそれを魅力に思っていたが、川西インターチェンジができてその景観も大きく変わった。川西は観光として栄えるまちではないので、どのように盛り上げていくか難しいところもあると思う。しかし、近代化はどこでもできることであっても、自然はそこにしかないもので、いかにバランスを取って共生できるかが重要なのではと思う。
- 市民が豊かに・穏やかに暮らせるような環境づくりを基本として、計画的に考えてほしい。老若男女を問わず誰でも利用可能な施設の建設はいいと思うが、環境を阻害するような大型施設(ゴルフ場など)は不要だと思う。

9. 環境問題

(提案、自慢、期待している事)

- 川西市のいいところの1つは、昔ながらの自然が多いことだと思う。これから開発されるとしても、車の排気ガス、温暖化の問題にも配慮し、なるべく今ある自然を守り活かしながら開発される事を望んでいる。

(不安、不満、改善点など)

- 車の出入りが増えることによる騒音・環境対策をお願いしたい。

10. その他

(提案、自慢、期待している事)

- 大和とグリーンハイツが一体となった生活圏、公共施設を共有して発展していける都市計画を期待している。
- 現状に満足していて特に困っていない。高速までにコンビニもあり、何か増えてほしい施設も思い浮かばない。
- 川西インターチェンジ横で行われている工事でどのような施設ができるのか知りたい。
- 陽明小学校の横にあるテニスコートのリフォームをしたらいい。

(不安、不満、改善点など)

- もっと土地利用する範囲を絞ってもらわないと判断出来ない。
- 調査対象者を将来世代に絞って 2000 人規模のアンケートを実施した方がいいと思う。お金の無駄遣いにならない意味のある調査を望む。
- 今からこの地域を担う、発想に柔軟性のある中学生や高校生も対象にしてアンケートを行うべきだと思う。
- 中途半端なものでは長続きしないと思う。市ではなく市民に任せた方が長期に渡って繁栄するのではないか。行政が管理するのはダメだと思う。
- コロナを理由にイベントを中止するのは止めてほしい。
- 高速入口の「kawanishi is…」の意図するものが分かり辛い。川西といえばコレ！というモノがもう少し分かりやすいと良いと思う。

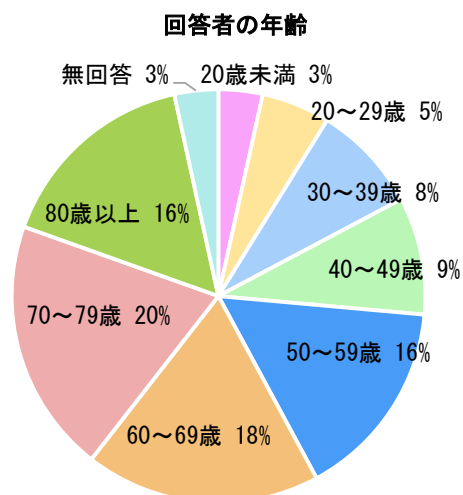
III. あなたご自身のことについて、お聞きします。

問7. 属性

あなたの年齢、お住まいの地域、現住所にお住まいの年数について、該当する番号をそれぞれ1つだけ選んでください。

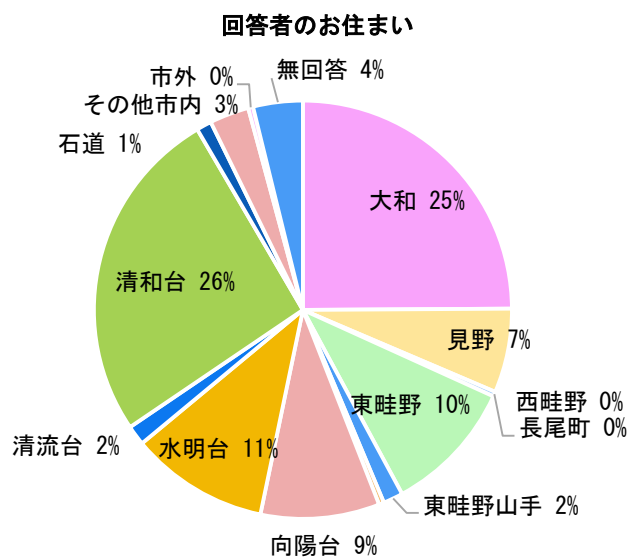
年齢

50歳以上の年代はそれぞれ20%程度見られる。
49歳以下の年代は10%程度となっている。



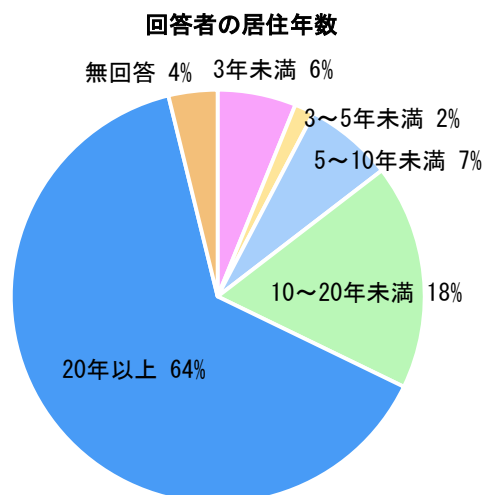
お住まいの地域

対象の11地区のうち、清和台と大和地区がそれぞれ25%程度を占め、他の地区の比率は少ない。



現住所にお住まいの年数

20年以上が64%を占め、10年未満は15%程度にとどまる。



新名神高速道路インターチェンジ周辺の土地利用計画

に関するアンケート調査のお願い



皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

本市では、川西 I.C.周辺地域の活性化に向けて一定の開発・建築を計画的に誘導するため、平成 27 年 3 月に「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画」を策定いたしました。

このたび、上位計画の見直し時期に合わせて、本計画の見直しを検討しております。

そこで、主に周辺地域住民の方を対象に、新名神高速道路インターチェンジ周辺の土地利用について、どのように考えておられるのかお伺いし、今後の検討の資料とするためアンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、できるだけ多くの皆様の意見を反映したいと考えておりますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、一人でも多くの方にアンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和 4 年 8 月

川西市長 **越田 謙治郎**

【調査対象者】

調査対象は、対象地域周辺*にお住いの 16 歳以上の市民の中から無作為に選び出した 600 人の方々です。*東エリア（大和、見野、長尾町）、中央エリア（東畦野、東畦野山手、西畦野、向陽台、水明台、清流台）、西エリア（清和台、石道）

【回答方法】

回答方法は次の 2 通りをご用意しております。

A) 調査票（P2～4）に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて最寄りのポストに投函

B) インターネットで以下の URL または右記 QR コードにアクセスのうえ回答

【パソコンの方】

https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/cgi-bin/enq/formcms/fc_form.cgi?g=320&m=p

【携帯電話の方】

https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/cgi-bin/enq/formcms/fc_form.cgi?g=320&m=m



調査票は、**9月5日（月）**までに回答をお願いします。

ご本人が引っ越しや単身赴任、入院等で、不在の場合は破棄願います。（代筆不要）

【お問い合わせ先】

川西市 都市政策部 都市政策課 TEL (740) 1201

1. 「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画」について、お聞きします。

※別紙「新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画（H29.12改訂）の概要」をご覧ください。

問1. 「新名神高速道路インターチェンジ周辺の土地利用計画」について関心がありますか。該当する番号を **1つだけ** 選んでください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 関心がある | 2. 少し関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 関心がない |

問2. 本計画では、対象区域を5つのゾーンに区分し、ゾーン毎の特性を踏まえた土地利用を誘導するためのルールとして、建てられる建物の用途や規模等を規制しています。（別紙の土地利用計画図を参照ください）。現在、具体的な土地利用が進んでいないことから、用途や規模等の規制を見直すことについて、どのように思いますか。該当する番号を **1つだけ** 選んでください。

- | |
|--------------------|
| 1. 現在の規制を見直す必要がある |
| 2. 現在の規制を見直す必要はない |
| 3. わからない |
| 4. その他（具体的に _____） |

問3. 今後、この地域に立地したらよいと思う施設はどのような施設ですか。該当する番号を **すべて** 選んでください。（複数回答可）

- | |
|----------------------------|
| 1. 自分たちの働く場となる施設 |
| 2. 本市の紹介や特産品の販売等を行う施設 |
| 3. 日常生活に必要な買い物ができる施設 |
| 4. 市外から人を呼び込むことができる施設 |
| 5. 診療所等の医療施設 |
| 6. 高齢者・障がい者の福祉施設や子育て支援施設 |
| 7. 移住者を受け入れるための住宅 |
| 8. 新しい施設は立地せず、自然や田園景観を保全する |
| 9. 特にない |
| 10. その他（具体的に _____） |

問4. この地域で緑地保全・景観形成を図りつつ、地域の活性化に資する土地利用を実現していくために、建物の高さやデザイン、植栽等に関するルールを定める方法があります。どのようなルールが必要だと思いますか。該当する番号を**すべて**選んでください。(複数回答可)

1. 建物の配置（道路から建物までの距離等）に関するルール
2. 建物の高さや大きさ（面積等）に関するルール
3. 建物の外観（色やデザイン、素材等）に関するルール
4. 植栽の場所や量、植え方等に関するルール
5. 広告物（看板等）の大きさや色、設置数等に関するルール
6. わからない
7. その他（具体的に _____)

問5. 本計画では、土地利用を計画的に進めていくため5つのゾーンに区分しています。(別紙の土地利用計画図を参照ください)。土地利用計画における5つのゾーニングについて、どのように思いますか。該当する番号を**1つだけ**選んでください。

1. 今のゾーニングでよい
2. 現況の森林や農地などの緑地や良好な景観を守るエリアを増やした方がよい
3. 商業施設や工場、物流施設などが立地できる地域振興に寄与するエリアを増やした方がよい
4. わからない
5. その他（具体的に _____)

II. 自由意見

問6. 新名神高速道路インターチェンジ周辺における土地利用に関して、ご意見やご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

Ⅲ. あなたご自身のことについて、お聞きします。

問7. あなたの年齢、お住まいの地域、現住所にお住いの年数について、該当する番号をそれぞれ1つだけ選んでください。

年 齢	1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上
お住まいの地域	1. 大和	2. 見野	3. 長尾町	4. 東畦野
	5. 東畦野山手	6. 西畦野	7. 向陽台	8. 水明台
	9. 清流台	10. 清和台	11. 石道	12. その他市内
	13. 市外			
現住所にお住いの年数	1. 3年未満	2. 3～5年未満	3. 5～10年未満	
	4. 10～20年未満	5. 20年以上		

お忙しいところ、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。
ご回答いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、
9月5日（月）までに最寄りのポストに投函いただきますようお願いいたします。

新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画 (H29.12 改定) の概要

川西 I.C.の開設に伴い、市街化調整区域の緑豊かな環境を守りながら、地域の活性化に向けて一定の開発・建築を計画的に誘導するため、本計画を策定しました。

基本理念

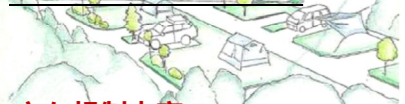
玄関口として緑地保全・景観形成を図りつつ、地域の活性化に資する土地利用を実現していきます

土地利用のイメージ

プロジェクト対応ゾーン

(自然利用共生型)

自然との共生を体感できる土地利用に対応できるゾーン



主な規制内容

- 【建築できる建築物の用途】
- ・スポーツ・レジャー施設の管理施設と付帯する宿泊施設
 - ・介護老人保健施設

【建築物の規模等】

- ・高さ、原則 12m以下

沿道利用対応ゾーン

道路利用者へのサービスを提供する土地利用に対応できるゾーン



主な規制内容

- 【建築できる建築物の用途】
- ・ドライブイン
 - ・ガソリンスタンド
 - ・コンビニエンスストア

【建築物の規模等】

- ・高さ 10m以下

プロジェクト対応ゾーン

(新規機能型)

地域振興に寄与する土地利用に対応できるゾーン



主な規制内容

- 【建築できる建築物の用途】
- ・スポーツ・レジャー施設の管理施設
 - ・「道の駅」相当の施設
 - ・地域振興のための工場
 - ・流通業務施設
 - ・学校 ・病院 など

【建築物の規模等】

- ・高さ、原則 12m以下

生活環境改善ゾーン

既存集落の住環境や既存事業所の操業環境を改善するゾーン



主な規制内容

- 【建築できる建築物の用途】
- ・戸建専用住宅
 - ・建替・用途変更される事業所
 - ・農林業用施設
 - ・公益上必要な建築物
 - ・日用品販売店等
 - ・市民農園の管理施設

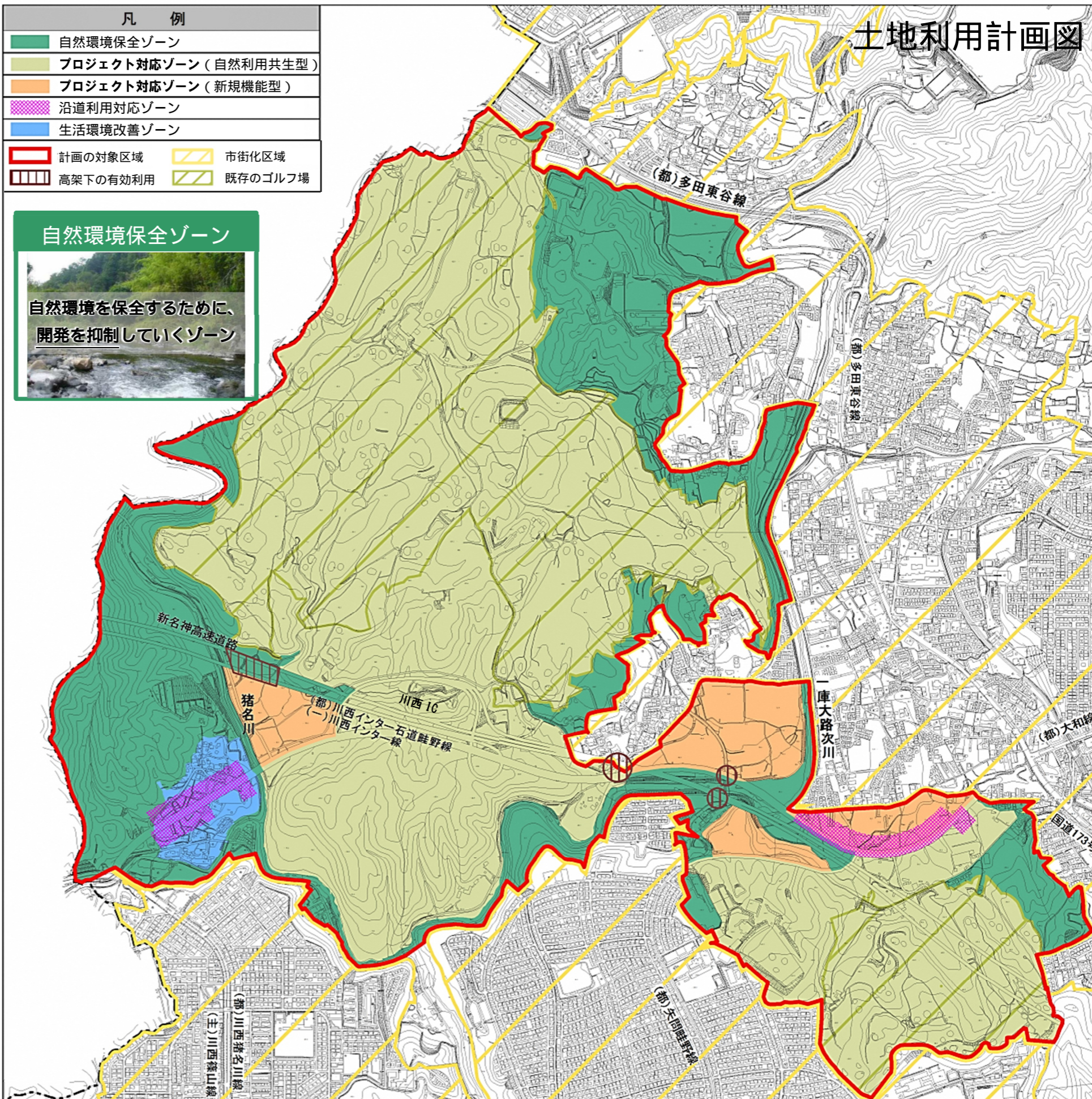
【建築物の規模等】

- ・高さ 10m以下 (住宅)
- ・高さ 12m以下 (住宅以外)

凡 例	
	自然環境保全ゾーン
	プロジェクト対応ゾーン (自然利用共生型)
	プロジェクト対応ゾーン (新規機能型)
	沿道利用対応ゾーン
	生活環境改善ゾーン
	計画の対象区域
	高架下の有効利用
	市街化区域
	既存のゴルフ場

自然環境保全ゾーン

自然環境を保全するために、開発を抑制していくゾーン



市街化調整区域：市街化を抑制する区域で、優れた自然環境を守り、開発や建築を制限する区域です。